

## 初期設定

取り付け後は必ず行ってください。

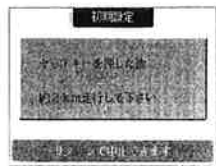
1. ナビユニットに専用CD-ROMを入れてください。
2. 調整メニュー画面より初期設定を選択し、以下の手順で初期設定を行ってください。  
(詳しくはお使いになる専用CD-ROMの取扱説明書の「初期設定について」をお読みください。)

① 初期設定を選択する。



② セットキーを押し、2km以上走行する。

※走行を開始する前に、車のトリップメーターを0にしておきます。



③ 2km以上走行後、セットキーを押す。



④ トリップメーターを参考に、走行した距離を入力する。

※「**リターン**」の上下操作で距離をあわせ、「**セット**」を押してください。



- できるだけ平坦でまっすぐな道で行ってください。
- 急発進・急加速はしないでください。
- 走行距離が2km以下では初期設定ができません。必ず2km以上走行してください。
- 初期設定後しばらくは誤差が大きくなる場合がありますが、走行しているうちに補正されます。初期設定は頻繁に行わないでください。
- 上記のことを確認し、原因不明で初期設定ができない場合には、販売店にご相談ください。

### 保証とアフターサービスについて

#### ●保証について

この製品には保証書が添付されています。販売店名、住所、購入年月日が入力されていることをご確認ください。保証書を紛失したり、記入されていない場合は、保証期間中であっても保証が無効となりますので、大切に保管してください。

#### ●アフターサービスについて

本製品に対するアフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店またはクルーズメイトお客様ご相談窓口にお願います。

### 住友電気工業株式会社

お客様ご相談窓口  
製品についてのお問い合わせはフリーダイヤルで

**0120-86-4313**

受付時間 午前9:30~12:00 午後1:00~5:30  
(土、日、祝日、年末年始・夏期休暇などは休みます。)

SET



- 販売店の皆様へ  
取り付けが終わりましたら、必ずお客様にお渡しください。
- お客様へ  
ご使用になる前に必ずお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

**警告表示について** 本製品を正しく安全にお使いいただくため、本書には以下のような警告表示がされています。その表示と内容を正しく理解してから、本文をお読みください。



- 特に注意していただきたい内容について書かれています。この内容に従わずに誤った取り扱いを行った場合、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



- 注意していただきたい内容について書かれています。この内容に従わずに誤った取り扱いをすると、人が怪我をしたり物的破損につながる可能性があります。

その他の表示の意味

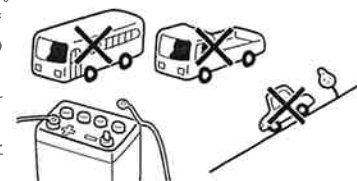


- 取り付け上の注意や、参考にしていただきたい内容が書かれています。

安全に正しくお使いいただくため、以下の注意事項をよくお読みください。



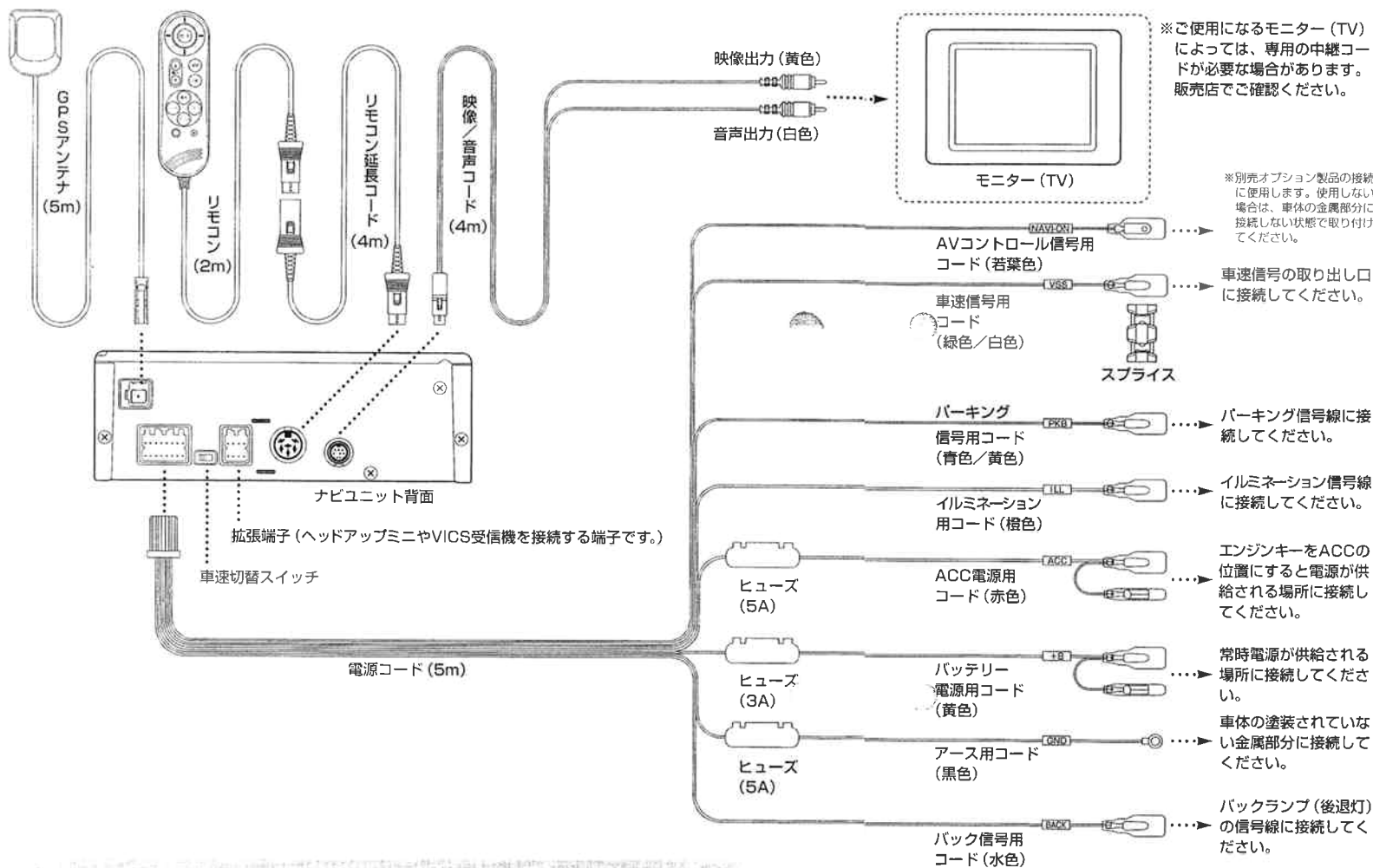
- 本機は12Vバッテリー（マイナスアース）電源車専用です。トラック、バスなどの24V電源車には使用できませんのでご注意ください。24V電源車で使用すると、火災や事故の原因となります。
- ショート事故防止のため、取り付け時には必ずバッテリー電源の(-)側のケーブルをはずしてください。
- 安全のため、取り付け作業は車を平らな広い場所に止めた状態で、エンジンを切って行ってください。



- 配線は必ず指定通りに行ってください。間違っていると、誤動作や故障の原因となります。
- 配線の際には座席レールなどの可動部分に線を挟み込まないようにご注意ください。またハンドルやブレーキ系統のボルトやナットを使用して、アース用コードを接続することは避けてください。
- 配線コードに衝撃が加わる場所では、ビニールテープやコルゲートチューブなどでコードを保護してください。
- コネクタ・ギボシ端子の接続は、完全にロックするまで差し込んでください。走行中にゆるんではずれると誤動作や故障の原因となります。
- 電源コードのヒューズが切れたときには配線・コードの傷などを確認し、必ず原因を確かめてから決められた値のヒューズと取り替えてください。決められた値以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
- 部品を両面テープや保護シートで取り付ける場合は、取り付ける場所の汚れをきれいに拭いてください。
- 車体に穴をあけたり加工する必要がある場合には、販売店にご相談ください。

# 全体配線図

配線図に従って、正しく配線してください。



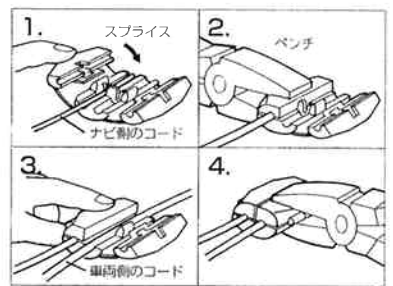
- ショート事故による感電や怪我を防止するため、取り付け時には必ずバッテリー電源の(-)側のケーブルをはずしてください。
- 配線は必ず指定通りに行ってください。誤って配線すると、火災や故障の原因となります。



- モニターとの接続は確実に行ってください。走行中に接続がゆるみ、画像が乱れたりノイズが発生する恐れがあります。また、映像/音声コードに負担がかかるような取り付けは避けてください。
- 取り付け状態によっては車両から出るノイズの影響で映像や音声にノイズが発生することがあります。この場合は配線を再確認していただき、それでも直らないときは別途ノイズフィルターをお買い求めください。(詳しくは販売店にご相談ください)

## ●スプリースの使い方

接続側の線の太さによって、スプリースでの接続ができない場合があります。(0.5~0.85mmの太さの線であれば、付属のスプリースが使えます。)



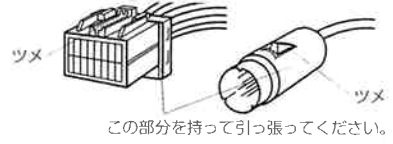
## ●ギボシの切断について

スプリースを使って接続する場合は、ギボシ端子部分を切断してください。



## ●コネクタの外し方

コネクタの抜き差しは、ツメの部分を押さえながらコネクタ部分をもって確実に行ってください。コードを持って引っ張るとコードが切れたり抜けてしまう恐れがあります。



## ●パーキング信号の接続について

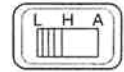
パーキング信号線を接続しないと一部の機能が使えなくなります。必ず接続してください。

## ●車速信号について

車速信号の取り出し位置は車種によって異なります。詳しくは販売店でご確認ください。※車種によっては取り付けられない場合があります。

## ●車速切替スイッチについて

取り付ける車種によって、スイッチを切り替えます。詳しくは販売店でご確認ください。



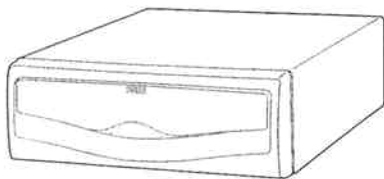
※出荷時は「L」の位置に設定されています。

## 部品一覧表

取り付け時に部品がそろっているかご確認ください。

- \*印のついた部品については、一般の販売店で購入できますので、補修時などにご利用ください。それ以外の部品については品番単位で扱っておりますので、販売店にご相談ください。(詳しくは8ページの「補修製品について」をお読みください。)

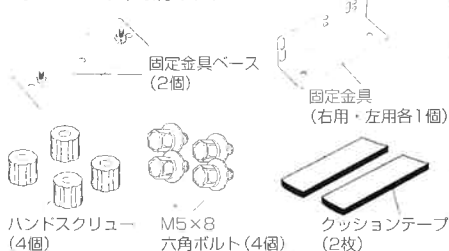
### ●ナビユニット



### ●電源コード



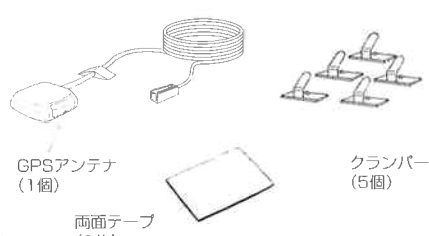
### ●ナビユニット取付キット



### ●リモコン



### ●GPSアンテナキット



### ●リモコン延長コード



### ●映像/音声コード



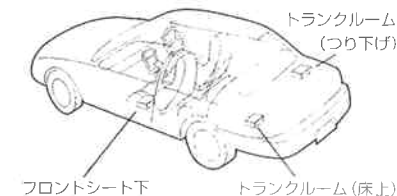
## ナビユニットの取り付け

ナビユニット取付キットを使ってナビユニットを取り付けます。



- 固定金具類は必ず付属の物をお使いください。
- ナビユニットは直射日光が当たる場所や、ヒーターの熱風を受けやすい場所、マフラーの熱がこもりやすい場所などに取り付けしないでください。
- ナビユニットはCD-ROMの出し入れができる位置に取り付けてください。
- ナビユニットにはジャイロセンサーが内蔵されています。ナビユニットは水平にしっかりと固定してください。(許容傾斜角度は5度以下です)
- ナビユニットを立てたり逆さまに置くと、誤動作や故障の原因となります。

ナビユニットの推奨取付位置  
(車種によっては取付位置が制限される場合があります。)

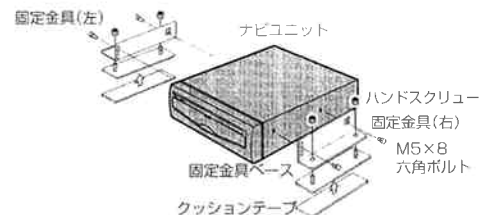


トランクルームの床下またはフロントシート下に取り付ける場合

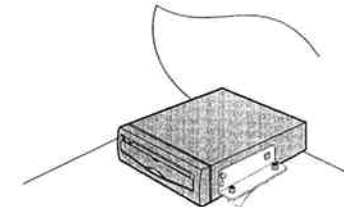


- ヒーターの吹き出し口近くへの取り付けは避けてください。取り付ける場合にはナビユニットに直接ヒーターの風が当たらないようにしてください。
- 足元に取り付ける場合には、ナビユニットおよびコード類が足に当たらないよう、ご注意ください。

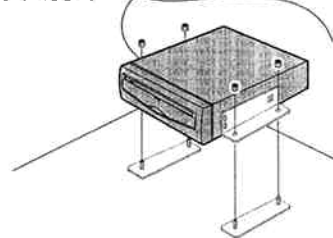
①ナビユニットの側面に固定金具を図のように下向きに六角ボルトで取り付けてください。固定金具には右・左がありますのでご注意ください。



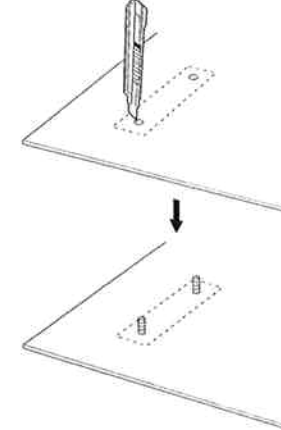
②固定金具ベースの裏側にクッションテープを貼り、固定金具ベースと固定金具をナットで仮止めしたあとカーペットを持ち上げ取り付け位置を決め、床に固定金具ベースを貼り付けてください。



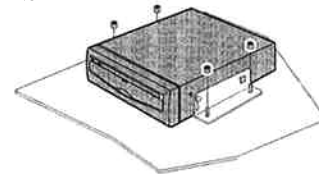
③固定金具ベースと固定金具の仮止めをはずし、ナビユニットを取りはずしてください。



④カーペットを元に戻しネジの当たる箇所をカッター等で切りとってください。

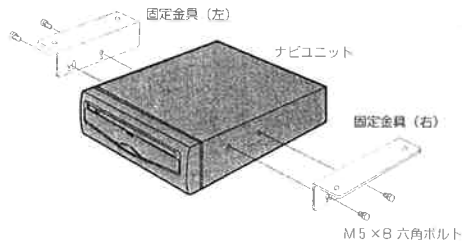


⑤ナビユニットをハンドスクリューで締め付けてください。  
(注意：走行中はずれることのないよう十分締め付けてください。)

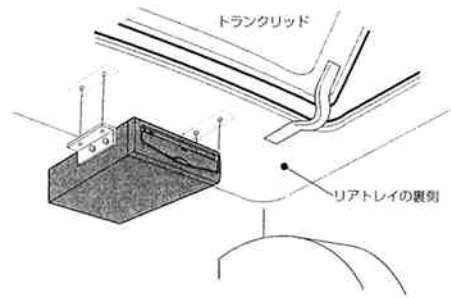


## リアトレイに吊り下げて取り付ける場合

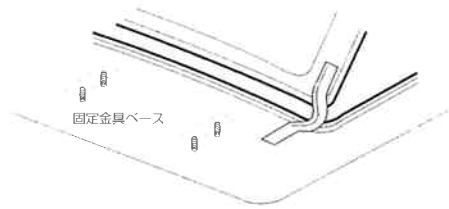
①ナビユニットの側面に固定金具を図のように上向きに六角ボルトで取り付けてください。固定金具には右・左がありますのでご注意ください。



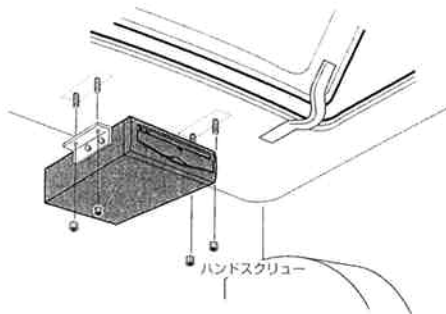
②取り付け位置を決め、リアトレイにドリル等で穴を4箇所あけてください。



③固定金具ベースを室内側からドリル穴に差し込んでください。



④固定金具ベースのネジ山と固定金具のネジ穴を合わせナットで締め付けてください。(注意：逆さまには絶対に吊り下げないでください。また、走行中はずれることのないよう十分締め付けてください。)



## GPSアンテナの取り付け

電波を受信できる位置に取り付けてください。



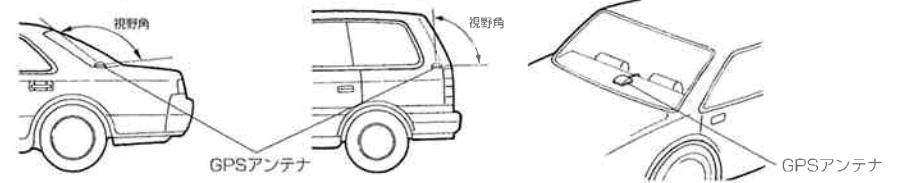
- 付属のGPSアンテナキットを使って取り付けてください。
- GPSアンテナは衛星の電波がさえぎられない場所に水平に取り付けてください。
- GPSアンテナのカバー部分に金属粉の含まれる塗料(メタリック系の塗料など)を塗らないでください。
- アンテナのコードは少しゆとりを持たせて配線してください。
- 防水パッドが不要な場合は、邪魔にならない位置に移動してください。

### 車内に取り付ける場合

●リアトレイの上に両面テープで取り付けてください。(室外に置く場合に比べ、受信状態が悪くなる場合があります。)

セダン、ハードトップ等は視野角を広くとれますので適しています。

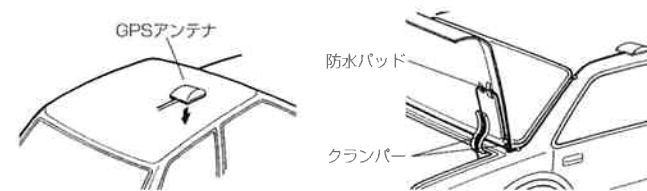
1BOX、RV、軽自動車等は視野角が狭くなりますので適していません。



### 車外に取り付ける場合

①GPSアンテナは磁石でルーフに吸着するようにしていますので、ルーフの平らな面を選び、取り付けてください。

②ルーフガターに沿ってアンテナコードを引き込み、数箇所クランバーで固定してください。



## リモコンの取り付け

運転に支障のない位置に取り付けてください。



●リモコンは運転に支障のない場所に取り付けてください。コードがハンドルなどにからまると非常に危険です。



- 両面テープを使って取り付けてください。
- 両面テープを貼り付ける表面はきれいに拭き取ってください。
- リモコンホルダは運転に支障のない場所に取り付けてください。

